

令和6年度 第9回梅坪台地域会議 会議録

- **日時** 令和6年12月10日(火) 午後7時～午後8時50分
- **場所** 梅坪台交流館 2階 大会議室
- **出席者**
 - <委員> 岩崎 洋平 岩松 初男 川井 圭子
 - 杉浦 隆 鈴木 重久 鎮西 和也
 - 長江 秀昭 山村 史子 依田 武人
 - <交流館> 杉山 浩子 (梅坪台交流館 館長)
 - <事務局> 大平 直樹 (地域支援課 担当長) 吉村 亜美 (地域支援課 主事)

■ 内容

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 報告・協議事項
 - (1) 地区コミュニティ会議関係について (報告)
 - (2) 地域課題について (協議)

■ 議事内容 (要約)

3 報告・協議事項

(1) 地区コミュニティ会議関係について (報告)

- ・青少年育成委員会…11月26日～12月1日よすが号パトロールを実施。
- ・福祉・健康委員会…認知症に関する講演会を実施。
- ・広報委員会 …ふれあいだより発行に向けた作業を実施。
- ・その他 …12月8日二十歳のつどい実行委員会を実施。

(2) 地域課題について (協議)

「地域と子どもとのつながり」「子ども会」について協議を進めた。子ども会運営に関して、地域会議としての考えを検討した。協議内容は別紙のとおり。

■ 今後の予定

令和6年度第11回梅坪台地域会議

2月18日(火) 午後7時～梅坪台交流館大会議室にて

今後の協議の進め方について（結論）

令和7年1月：

- ・鎮西委員から梅坪町内の子ども会へ、地域会議での協議内容（子ども会運営の改革）について、事務局を含めて直接話を伺う時間をもらえるか調整する。
- ・上記が可能とあれば、子ども会・委員（一部）・事務局での話し合いを実施する。資料は、地域支援課案と長江委員案を使用する。

令和7年2月：

- ・梅坪町内の子ども会の話し合い結果を踏まえ、今後の動きを検討する。

協議経過

○事務局から説明

- ・「地域と子どもとのつながりを継続」させるために、「子ども会活動を継続」させることが必要であるということで、地域会議で協議を進めてきた。
- ・これまでの協議内容を、「地域支援課案」として作成した。この案を基に本日の地域会議の委員の意見を付け加え、子ども会の方に直接意見を聞くときに使う資料としたい。
- ・「地域支援課案」は現在の子ども会の体制をそのままに、（1）イベントの見直し（2）事務作業の見直し（3）役員のなり手確保 の3つの取組を、子ども会・地域組織・民間業者・行政が連携して実施することを提案する内容。

○委員の主な意見

- ・長江委員から、「参加者が楽しむこと」と「伝統文化の継承」の役割を存続するための提案がされた。a案（自治区単位の子ども会を存続する）とb案（梅坪台地区全体で一つの子ども会を創設する）があり、それぞれのメリット・デメリットを説明。

地域会議から子ども会へ提案することについて

- ・提案することにより、子ども会運営の主体性が失われてしまわないよう注意。どうしたら保護者の負担が軽減され、参加しやすいと思えるかを聞きたい（役員就任のハードルの高さや、行事企画や組織運営のための参考になる情報など、具体的なこと）。
- ・子ども会と密接な関係にある自治区に、地域会議の協議経過を共有して意見聴取すべき。
- ・地域会議が行った子ども会へのアンケート結果の公開については、要検討。

提案内容について

- ・保護者の負担を軽減することが子ども会を存続させる（多くの子どもが加入する）ことにつながるため、大人も子どもも「参加しやすい子ども会」に変えていく必要がある。
- ・梅坪台の7子ども会の横のつながりは無いと思われる。小学校区内なので保護者同士が知り合いで、つながっている可能性はある。正式な情報交換の場は無いと思う。
- ・地域学校共働本部について。主な活動は、登下校の見守り、読み聞かせ等のPTCAへの協力、総合学習のサポート。「学校」が主語の取組をする組織なので、「子ども会」「地域」に関する取組に対する連携は難しいかも。市学校教育課との協議が必要と思われる。
- ・多くの子ども会は、役員は毎年交代する。担い手を探すことや引継ぎが大変。子ども会の役員は、保護者に限らず、自治区組織の一部にすることや祖父母が担うことも解決策の一つでは。